

# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

災害が起きた時に使われる避難所のトイレ環境に注目が集まっています。記事を読み、質問に答えましょう。

## Q1 ★★☆☆

2018年の西日本豪雨で被害を受けた倉敷市では、トイレにまつわるどんな問題が起きたでしょうか。第1段落や見出しに着目して答えましょう。

## Q2 ★★☆☆

倉敷市は、災害時のトイレについてどのような対策をしていますか。第10段落を読み答えましょう。

## Q3 ★★☆☆

災害の時、どんなトイレがあれば安心だと思いますか。周りの人と話合ってみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。

災害時に住民が身を寄せる避難所で、トイレの環境整備への注目が高まっている。倉敷市では2018年の西日本豪雨時、想定を超える被災者が押し寄せたため数が不足したり、高齢者が使いにく

### 豪雨 西日本

かったりする問題が起きた。市は避難所となる全ての小中学校体育館に洋式トイレを設けるなど対策を講じているが、住民への周知不足も懸念される。  
(太田知二)

## 避難所トイレ整備注目

西日本豪雨の際、浸水を免れた熊野神社には周辺の住民が次々と避難。

食事や水制限も  
「いざというときの備えになる。本来にありがたい」。神社総代長の三宅邦夫さん(75)はうなずいた。



熊野神社に設置されたトイレ。使いやすさに配慮している

### 倉敷市 対策強化も周知不十分

国土交通省認証の「快適トイレ」。便器は洋式で、簡易水洗や臭いを防ぐ機能を持つ。大人がゆつたりと利用できるスペースを確保し、二重ロックも備えた。くみ取りが必要だが、1日10人程度が使用しても1カ月分は持つという。

同市真備町尾崎の高台にある熊野神社。むぎ出しの和式便器がある古びた建屋の隣に昨夏、新しい仮設トイレが据え付けられた。

主として工事現場で使われた。使いやすさに配慮し、女兼用の和式と男性用の洋式を併設した。当時の状況を知った。熊野神社の総代長は「トイレは狭く、高齢者には介助が必要だった。川事務所が、復興工事に携わる業者に協力を要した」と振り返る。

新たな設備の導入は、当時の状況を知らなかった。熊野神社の総代長は「トイレは狭く、高齢者には介助が必要だった。川事務所が、復興工事に携わる業者に協力を要した」と振り返る。

ただ、こうした情報はハザードマップなどに記載がなく、一般の認知度は十分とは言えない。大雨により、市が真備町地区などに避難情報を出した昨年7月中旬にも、トイレへの不安から自宅にどまる住民が見られた。

洋式化を進める  
内閣府が17年に全国1500人を抽出して行った調査では、避難所に最低限必要な条件(複数回答)で、約7割が「トイレの十分な数」と回答している。倉敷市は、避難所と

「いざというときの備えになる。本来にありがたい」。神社総代長の三宅邦夫さん(75)はうなずいた。

「いざというときの備えになる。本来にありがたい」。神社総代長の三宅邦夫さん(75)はうなずいた。

同市真備町尾崎の高台にある熊野神社。むぎ出しの和式便器がある古びた建屋の隣に昨夏、新しい仮設トイレが据え付けられた。

主として工事現場で使われた。使いやすさに配慮し、女兼用の和式と男性用の洋式を併設した。当時の状況を知った。熊野神社の総代長は「トイレは狭く、高齢者には介助が必要だった。川事務所が、復興工事に携わる業者に協力を要した」と振り返る。

新たな設備の導入は、当時の状況を知らなかった。熊野神社の総代長は「トイレは狭く、高齢者には介助が必要だった。川事務所が、復興工事に携わる業者に協力を要した」と振り返る。

ただ、こうした情報はハザードマップなどに記載がなく、一般の認知度は十分とは言えない。大雨により、市が真備町地区などに避難情報を出した昨年7月中旬にも、トイレへの不安から自宅にどまる住民が見られた。

ただ、こうした情報はハザードマップなどに記載がなく、一般の認知度は十分とは言えない。大雨により、市が真備町地区などに避難情報を出した昨年7月中旬にも、トイレへの不安から自宅にどまる住民が見られた。

数不足、使いにくい 課題浮き彫り



災害はいつ起きるか  
分からない!  
備えておくことが大事だよ